

2013年11月21日

各位

日産化学工業株式会社

造血幹細胞用の新規培養液『ReproHSC』発売のお知らせ

当社は、造血幹細胞用の新規培養液『ReproHSC』を株式会社リプロセル(本社:神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-11KDX新横浜381ビル9階、代表取締役:横山 周史)と共同開発いたしました。本製品の販売につきまして、リプロセル社が12月から開始することとなりましたので、お知らせいたします。なお、当社は本製品に必須である造血幹細胞増多剤NR-102をリプロセル社に供給いたします。

造血幹細胞は主に骨髄および臍帯血に存在し、赤血球、白血球、血小板など全ての血球系細胞をつくり出すものになります。また、造血幹細胞移植(骨髄移植/臍帯血移植)は白血病や再生不良性貧血などの有効な治療方法として高い治療成績が報告されておりますが、提供ドナーの不足が課題となっております。

臍帯血の採取は生体への浸襲がないため、提供ドナーに負担をかけることなく、非常に有望な移植細胞源として期待されておりますが、採取量が少ないことから、移植に必要とされる造血幹細胞の数を確保するためには、造血幹細胞を体外増幅する必要があり、世界中で本技術の研究開発が行われています。

『ReproHSC』は、培養液中にNR-102を添加することで、従来の培養液と比較して、数倍程度、造血幹細胞を増幅させることが可能です。本培養技術が、研究分野で広く使われることで、造血幹細胞の増幅研究を加速し、将来的に臍帯血移植の臨床現場へ応用されることが期待されます。

当社は今後とも、精密有機合成技術、生物評価技術を駆使し、新たな製品の創出に取り組んでまいります。

以上